



急激な物価高騰に対し、 中小企業の営業と区民生活を守る

今年に入り 6,100 品目が値上げされ、特に電気、ガス、生鮮食料品の値上げは暮らしに深刻な打撃を与えています。営業と生活を守る具体的な支援策が求められます。

申し入れ全文と
区からの回答



区として対策を!

- 飲食業、理・美容業、クリーニング業などに固定費補助などの支援を
- 学校給食の食材費の高騰分を区が負担すること
- コロナ関連の協力金・給付金は収入認定から除外し、公営住宅の家賃を引き上げないこと・・・など、9項目

国や東京都に要請を!

- 消費税を直ちに5%に引き下げ、インボイス制度の導入は中止すること
- 年金の減額をストップすること
- 最低賃金を時給1,500円に引き上げること・・・など、10項目



青木副区長に、要請書を手渡しました。

神宮外苑再開発のために 区道が廃止される?



伐採予定の18本のイチヨウ並木

今議会に「港区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例」が提案され、党区議団のみ反対しました。

条例改正は、①神宮外苑再開発で190m、185m、80mのビル建設を容認する。②イチヨウ並木からわずか8mしか離れていないところへホテル併設の神宮球場の建設を認める。③この再開発のために2本の区道を廃止する計画。区道にある18本のイチヨウは伐採される危険があります。

神宮外苑再開発は、三井不動産、明治神宮、日本スポーツ振興センター、伊藤忠が計画。公園整備といいながら3.6%も面積を減らし、神宮球場と秩父宮ラグビー場を入れ替え、3棟の超高層ビルが建つ計画です。そのために、歴史ある樹木971本が伐採されようとしています。また、軟式野球場やバッティングセンターなど庶民のスポーツ施設がなくなります。今、「神宮外苑の緑と景観、歴史を守れ」と、運動が大きく広がっています。

補聴器好評 です!

補正予算可決

今年の4月から実施している補聴器購入費助成制度は多くの高齢者に喜ばれ、6月14日時点で相談件数は427、申請は161人になりました。当初の人数を大きく上回るために補正予算(約6,100万円)が組まれました。

区民健診に聴力検査の導入を

区長「実現可能な検査体制を検討していく」

高齢者の難聴は自分では気づきにくいいため、区民健診に聴力検査の導入を求めています。港区医師会の独自調査でも65歳以上の78.9%が難聴という結果です。

早期実現を目指して取り組みます。

政党助成法の廃止を求める意見書提出に関する請願

自民・政策会議・公明・維新などで 否決

「政党助成法の廃止を求める意見書提出に関する請願」が出されました。これは、「支持しない政党へ予算が使われる制度で、思想良心の自由を保障した憲法19条に違反しているため、廃止を求める意見書提出」を願うものです。

6月17日の本会議で、共産党以外の党・会派によって否決されました。

請願者の趣旨説明で、自民党172.6億円、公明党30.3億円、立憲民主党39億円、日本維新の会18.5億円、国民民主党5.7億円が支給されていること。共産党は受け取っていないことが紹介されました。

困ったときは
すぐ相談を
弁護士と区議会議員が
ご相談に応じます



福島 宏子
区民文教常任委員/エレベーター等安全対策・新型コロナウイルス感染症対策特別委員/東京オリンピック・パラリンピック対策特別委員



熊田 ちづ子
保健福祉常任委員/行財政等対策特別委員長/議会運営委員/議員団長



風見 利男
建設常任委員/交通・環境等対策特別委員長/議員団幹事

※質問と答弁の詳細は、「ホームページ」または「QRコード」でご覧になれます。

代表質問

福島宏子区議



1. 羽田新飛行ルート問題について

- * 国に、氷塊落下が都心上空を飛行した旅客機に原因がないのか、調査を要請すること
- * 原因が明らかになるまでは都心上空飛行をやめ、海上ルートの活用を要請すること

2. 防災対策について

- * 「戸開走行保護装置」「地震時管制運転装置」の設置を促進すること
- * 「閉じ込めキット」設置については、管理組合も支援の対象にすること
- * 入浴施設の確保について「自律分散型水循環システムWOTABOX（ウォータ・ボックス）」の導入を検討すること

3. コロナ対策協力金を公営住宅家賃算定から除外すること

4. 私立幼稚園の副食費補助について

- * すべての幼稚園でお弁当を持参している世帯にも、給食を食べている世帯と同じ条件（所得税課税額77,100円以下、または第2子以降）で「副食費補助」を支給すること
- * 所得制限を無くして、すべての世帯に「副食費補助」を支給すること

5. 区内保育園の3歳児以上の給食費の保護者負担をやめること

6. 園庭が無い保育園の園児の遊び場の確保について

- * 学校やいきいきプラザ、その他の施設との連携強化で遊び場確保を急ぐこと
- * 公園は、早い者勝ちではなく各園が安心して公平に使用できるように区として対応すること

- * スポーツセンターや芝プール（アクアフィールド芝公園）、幼稚園や学校などの力も借り、すべての子どもたちにプール遊びが保障できるようにすること

一般質問

熊田ちづ子区議



1. 日本政府に核兵器禁止条約に署名・批准を求めること

- * 第1回の締約国会議にオブザーバーとして参加するよう求めること

2. 消費税を5%に引き下げること

3. インボイス制度（適格請求書保存方式）の中止を国に申し入れること

- * シルバー人材センターへの独自支援を行うこと

4. 75才以上の医療費窓口負担2倍化に反対すること

5. 大平台みなと荘の改善について区民の声を改修計画に生かすこと

- * ベッドの部屋を増やし、ベッドに手すりを
- * 露天風呂の手すりを増やし、お風呂用の車いすが欲しい
- * 障害者用のお風呂は使いづらい、改善を

6. ちいばすのバス停の改善

- * 三田線三田駅前（旧勤労福祉会館前）はバス停の移設も含め、早急に屋根の設置を



みなとの空を守る会と24の町会長・自治会長からの請願 住民説明会の開催求める

『国交省発行「港区の皆さまへ 羽田空港のこれから2022年冬号」並びに港区が実施した意見募集に寄せられた意見に関して住民説明会の開催を国に求める請願』が出されました。

請願は「航路下の住民は騒音に悩まされ、落下物への不安を抱えて日々の生活を送っている。国交省が配ったリーフレットでは、飛行経路の見直しをいうが、住民に



は説明されていない。港区は意見募集に寄せられた声をもとに区長名で要請した。それらについて住民説明会で説明することを求める」請願です。

全会一致で採択されました。



障害児に関する請願が2本 保護者の就労支援の必要性を区も認識

「障害児の親の就労支援のための港区担当部署の設置に関する請願」と「高校生の障害児の保護者の就労支援に関する請願」が出されました。

日常生活に切れ目のない支援が必要としているにもかかわらず支援が不足している中、サービスを組み合わせることに疲弊している実態が明らかにされました。

高校への通学のためのスクールバスを利用できない。高校生を受け入れる放課後デイサービス事業者がほとんどない事が問題になりました。区も保護者の就労支援の必要性を認識しており、対策に取り組むと答弁しました。

障害児やその家族、一人一人に合った支援策が実現できるよう、取り組んでいきます。

福祉総合窓口

各総合支所で8月開始 ワンストップで相談

区民がかかえる問題を解決するには複数の課にまたがる事が多く、1か所で相談できる体制が求められていました。



芝総合支所の窓口

インボイスの 中止を

中小企業の支援策を 用意していくと答弁

消費税法の改正で2023年10月から仕入れ税額控除は「インボイス」がなければ認められなくなります。

シルバー人材センターの会員やフリーター、個人事業主はインボイス発行事業者か免税事業者かどちらかを選択しなければなりません。区長は、「税理士など専門家に直接相談できる窓口を作る。事業者の経営状況を丁寧に聞き取り中小企業の支援策を用意していく」と答弁しました。皆さんと力を合わせて中止させるまで頑張ります。

ご存じですか？

区内マンションで設置はわずか30件

エレベーター内の防災用閉じ込めキット（防災キャビネット）

震災などでエレベーター内に閉じ込められる危険が増えています。「閉じ込めキット」の普及を急ぐ必要があります。進まない理由は『防災住民組織』が支援の条件であること。ハードルが高すぎます。党区議団は、「管理組合」も支援の対象にすべきだと命を守る提案をしています。



港区役所本庁舎に『oitl（オイテル）』設置 1.2階の個室に

党区議団の要望に応えて、6月30日に区役所内のトイレ2か所に『オイテル』が設置されました。アプリをかざすと無料で生理用品が受け取れます。<全国18自治体、1000か所以上に設置>



1、2、11F男子トイレ(個室)にサニタリーボックス

